小川赤十字病院　化学療法レジメン

対象疾患名　大腸がん

申請レジメン名　FOLFIRI+P-mab

催吐リスク　中度

放射線治療併用	□有	☑無	根拠文献	[1]Clin Oncol.28(31): 4706-13(2010).
1コースの目安	1コース	14日	投与回数上限	□有（　回）☑無

レジメン内容

No.	抗がん剤名（溶解液等を含む）	標準的投与量	投与量注釈	投与方法	投与時間（投与速度）	上限量	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	生理食塩液	100ml		中心静注	ライン確保・フラッシュ用		○													
2	ベクティビックス点滴静注 生理食塩水	6mg/kg 100ml	*フィルター付きライン使用 全量100ml	中心静注	60分		○													
3	アロキシ点滴静注バッグ デキサート注射液	0.75mg/50ml 9.9mg		中心静注	15分		○													
4	レボホリナート点滴静注用 生理食塩水	200mg/㎡ 250ml		中心静注	120分		○													
5	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 生理食塩水	150mg/㎡ 250ml	*レボホリナートと同時投与	中心静注	90分		○													
6	5-FU注 生理食塩水	400mg/㎡ 50ml		中心静注	5分		○													
7	5-FU注 生理食塩水	2400mg/㎡ 150ml	*シュアフューザーポンプ使用	中心静注	46h		○													
8	デカドロン錠0.5mg	4mg/day		内服				分2	分2											
9																				
10																				

注意事項
＊レジメン名は、似た名称を避けるため変更することがあります。
＊このシートは1コース分が記載されています。
＊1回投与量の上限がある場合には上限量が記載されます。

備考（化学療法に必ず併用される特殊な手技・化学療法の中止基準）

デキサメタゾン注は、耐糖能等によって適宜増減